

名古屋国際会議場の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	コングレ・名古屋観光コンベンションビューローコンソーシアム		
主な業務内容	施設の供用、施設の維持管理及び修繕、事業報告書等の作成、会議場の利用促進など		
評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月	指定期間	平成30年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	利用者の利用にあたって不公平が生じていないか	○	・大規模災害時に避難者が転倒する恐れのある路面タイルをコンクリートに仕様変更する工事を実施した。 ・第30回日本医学会総会にて経済波及効果を測定した。 ・海外MICEトレードショーに出展し、国際会議場をPRした。
	(2) 開館の実績	仕様書通りに開館しているか	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対応についてマニュアルが整備され、周知されているか	◎	
	(7) 市民・企業等との協働	市民ボランティア及び市内の幅広いコンベンション関連企業等との協働が図られているか	◎	
	(8) 市のコンベンション推進施策との協調	市のコンベンション推進施策を十分理解し、コンベンションの誘致と開催支援に努めているか	◎	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか	◎	・アコウの木の樹木医診断を実施し報告した。 ・騎馬像の劣化状況に関し損傷箇所を報告した。 ・共用部のカーペット洗浄を実施した。
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか	◎	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績をあげているか	◎	・各種割引制度を継続した。 ・利用者から苦情のあった箇所の補修等に迅速に対応した。 ・名古屋学院大学学生の意見を参考にHPアクセスポージの改善を行った。
	(2) 事業実施状況	計画通り実施されているか	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組を実施しているか	◎	
	(4) 接客態度	言葉遣いや接客態度、名札、服装等は適切か	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか	◎	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか	◎	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか	◎	高い利用料収入を達成した。
	(2) 収支状況	当初の計画通りの収支状況になっているか	◎	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、使用目標日数の目標を概ね達成した。センチュリーホール265日(目標270日)、イベントホール241日(目標255日)、白鳥ホール247日(目標245日)、レプションホール237日(目標260日)、国際会議室137日(目標115日) 第30回日本医学会総会の経済波及効果を名古屋学院大学経済学部と共同で調査・分析した。その他、地元大学生向けのMICE人材育成事業の継続的な実施、学会事務局への誘致活動やドイツで開催した海外MICEトレードショーに出展し施設をPRするなど、市のMICE推進のため積極的な活動を行った。

施設の現状

名古屋国際会議場

施設の現状	施設概要							
	国際交流の推進や産業、学術、文化の向上に資するため設置された施設です。国際会議をはじめとするコンベンションや音楽会、展示会などの利用に供しています。							
	市の収支状況(千円)（元年度決算見込み額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	30,690	167,716	198,406	15,783	57,308	125,315	198,406	1,016,310
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	利用率		%	64.3	65.1	67.8	67.9	
	収支率		%	98.9	33.1	56.0	36.8	
	特記事項							
	利用率については、令和元年度は概ね例年並みとなった。 収支率については、令和元年度は新型コロナウイルス感染症による催事の中止のため、低い水準となった。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載